

クラフトメーターキット取り扱い説明書

適応車種 スーパーカブ50 (スーパーカスタムは除く)
 フレーム番号 C50-0200001~0901116
 商品番号 09-01-116

⚠ 注意

- ・取り付け作業は必ずエンジンの冷間時(35℃以下)に行ってください。火傷の原因となります。
- ・作業を行う際はその作業に適した工具を用意して行って下さい。部品の破損、ケガの原因となります。
- ・ボルト、ナット類は、必ずトルクレンチを使用し、指定トルクで確実に締め付けて下さい。
- ・ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。
- ・バッテリーには希硫酸が含まれ、目や皮膚に付着すると重いヤケドを負います。十分注意して取り外し作業を行ってください。
- ・製品には、エッジや突起部分がある場合があります。作業時は手を保護し、注意して行って下さい。ケガの原因になります。
- ・作業の際には平坦で足場のしっかりした場所に車両を安定させてから作業を行ってください。作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。
- ・配線結線時はメインキーをOFFにしてから行って下さい。感電やショート恐れがあります。

⚠ 警告

- ・走行中、異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停止し、異常箇所を点検して下さい。
- ・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した場所では、エンジンをかけないで下さい。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

正しく安全にご使用頂くために

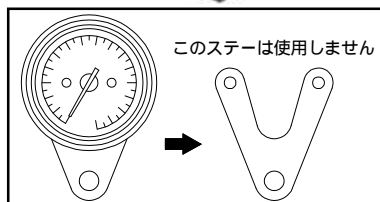
- ・この度は、タケガワ製品をお買い上げ頂きまして有難うございます。ご使用になられる前にこの説明書を必ずお読み頂いて内容を把握下さい。
- ・取り付け、加工前には必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気づきの点がございましたらお買い求め頂いた販売店とご相談下さい。
- ・本品は、上級者向けのクラフトキットとなっております。取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、作業要領に従い、十分注意して作業を行いますようお願い致します。
- 又、作業時には手袋を必ず使用して下さい。加工バリ等でケガをする恐れがあります。尚、取り付け加工等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ・排気ガスには、有害な成分が含まれます。エンジンをかけての点検は、閉め切ったガレージの中や、風通しの悪い場所で行わないで下さい。

特徴

スーパーカブ50用に0~140km/hスケールのスピードメーター、14000rpmスケールの電気式タコメーターをセット。ファッション性と実用性を備えたキットとして設定しました。又、クラフトキットとすることで、より低価格で提供する事が出来ました。

作業に使用する工具等

- ・リユーター
- ・手袋
- ・平/丸ヤスリ
- ・ウエス
- ・透明シリコン(コーキング材)
- ・タッチアップペン
- ・マジック
- ・ビニールテープ
- ・マスキングテープ
- ・一般工具



取り付け要領

ステアリングハンドルの取り外し



1. ライトケース斜め下2本のスクリューを緩めてヘッドライトユニットを外しヘッドライトバルブ用のカプラーを外します。(スクリュー、ボルト、ナット類は再使用します。)



2. ライティングスイッチ、ウinkerスイッチのそれぞれ2本のスクリューを緩め、スロットグリップ、Lハンドルグリップと共にステアリングハンドルから取り外します。



3. スピードメーター及びウinkerとメインハーネスをつなく、ギボシを外しライトケース内のボルト1本とハンドル下の2本のナットを取り外します。



4. スピードメーターケーブルを外すとステアリングハンドルが取り外せれます。



5. ステアリングハンドル裏のセッティングスプリングを外し、スピードメーターを取り外します。



6. ウinker ASSYを配線ごと抜き取り、ステアリングハンドルのみの状態にしておきます。

No	DESCRIPTION	QTY
1	ウinkerパイロットソケット	1
2	ウinkerパイロットレンズ	1
3	ニュートラルパイロットソケット	1
4	ニュートラルパイロットレンズ	1
5	スプリングワッシャー 5mm	6
6	プレーンワッシャー 5mm	4
7	六角ナット 5mm	4
8	メーターカバースプリング	2
9	サブコード(ブラウン)	1
10	サブコード(グリーン)	1
11	黒/黄リードコード	1
12	ウェッジベースバルブ 12V 1.7W	2
13	電気式タコメーター	1
14	スピードメーター	1
15	メーターカバー	1
16	メーターステー	1
17	配線図	1
18	型紙	1

ステアリングハンドル、メーターカバーの加工

1. 付属の型紙を切り取りステアリングハンドルにテープ等で固定し型紙に沿ってマーキングします。

2. マーキングを目印にリューター等を用いて削り取ります。削りすぎに注意して下さい。

3. 削り取った後は、タッチアップペイントでサビ止め処理を行って下さい。

4. ステアリングハンドル裏にあるコードクランプをニッパー等で切り離し、スポット溶接部分をリューター等で削り取ってサビ止め処理を行います。

5. 加工したステアリングハンドルの形に合わせてながらメーターカバー裏をリューター等で削り成形します。削りすぎに注意し少しづつするのがコツです。

取り付け 1.

1. ウェッジベースバルブを2個のソケットにそれぞれ差し込み、メーターカバーに取り付けます。ターン及びニュートラルレンズを差し込みます。

2. ステアリングハンドル裏側に、メーターステーを取り付け方向に注意して仮止めしておきます。

3. メーターカバー裏側全周に透明シリコンを塗布し、ステアリングハンドル取り付け位置に添えます。

4. スプリングを、メーターカバーとメーターステーの穴に引っ掛けて、取り付けます。



5. 両メーターのボディ全周に透明シリコンを塗布します。

6. タコメータにのみスプリングワッシャーを1枚ずつ入れてから各メーターをメーターステーに取り付けブレーンワッシャー、スプリングワッシャーを入れナットを指定トルク(0.6kgf・m)で締め付けます。

7. メーター及びメーターカバーの余分な透明シリコンを乾かないうちに拭き取ります。

8. ウィンカーASSYを指定トルク(0.35~0.5kgf・m)でステアリングハンドルに取り付けます。

取り付け 2.

1. フロントカバーの4本のボルトと2個のナット及び左右サイドカバーの各1本ずつのスクリューを緩めて取り外します。

2. バッテリー及びバッテリーボックスを2本のボルトを緩めてフレームボディーから取り外します。

3. フレームボディー内のイグニッションコイルにつながる2本のコードの片方、黒/黄コードを外します。

4. イグニッションコイルに付属の黒/黄コードのターミナルを差し込み、オス側に先に外したSTD黒/黄コードを差し込みます。接続部分はビニールテープを巻くなどしてショートしないようにして下さい。

5. 付属黒/黄コードをフレームボディー内から、メインワイヤーハネスに沿って、ハンドルカバー内に導きます。



6. バッテリーボックス及びバッテリーを取り付け指定トルク(0.8~1.2kgf・m)で締め付けます。

7. ハーネスやケーブルが噛み込まないように注意しながら、ステアリングハンドルをトップブリッジプレートにナットを仮締めします。ナットを指定トルク(2.0~3.0kgf・m)フランジボルトを指定トルク(1.0kgf・m)で締め付けます。

8. 配線図を参考にして結線し、ヘッドライトのカブラーをつなぎヘッドライトをはめ込んで2本のビスを指定トルク(0.7~1.1kgf・m)で締め付けます。

9. 配線図を参考にして結線し、ヘッドライトのカブラーをつなぎヘッドライトをはめ込んで2本のビスを指定トルク(0.7~1.1kgf・m)で締め付けます。

10. エンジンを開始させ、ランプ類が点灯するか、タコメーターは正常に作動するかを確認して下さい。タコメーターの作動確認は必ず十分に充電されたバッテリーを取り付けて行って下さい。タコメーターが損傷する場合があります。

11. 異常がなければフロントカバー、左右サイドカバーを取り付けてボルトを指定トルク(0.8~1.2kgf・m)、ナットを指定トルク(1.8~2.5kgf・m)、スクリューを指定トルク(0.35~0.5kgf・m)で締め付けてから実走でスピードメーターの作動確認を行って下さい。

☆使用前に必ず行って下さい☆



注意

- バッテリーを必ず装着して使用する事。(タコメーターが破損します。)
- ACレギュレーターが正常か確認の上、使用する事。
(タコメーターが破損する恐れがあります。) * サービスマニュアルの点検方法を参照にする事。
- プラグコード及びプラグキャップは、STD品を必ず使用する事。(タコメーターの表示の異常及び破損の恐れがあります。)
- スパークプラグは、必ずレジスタタイプを使用する事。(タコメーターの表示の異常がおこります。) * 例参照

◎ACレギュレーター点検

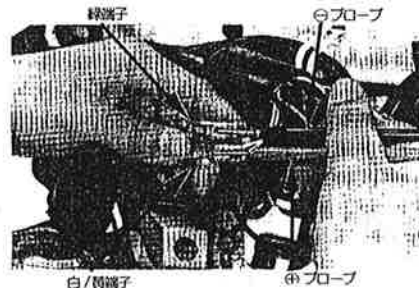
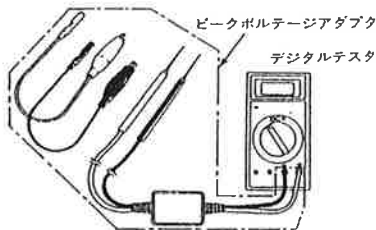
- 暖機運転をしてエンジンを停止します。
ACレギュレーターコネクタにAC電圧計をセットし、(白/黄に+、緑に-) エンジンを始動させます。

△注意：ショートさせない様にする事。

制御電圧：13～15V / 5000rpm

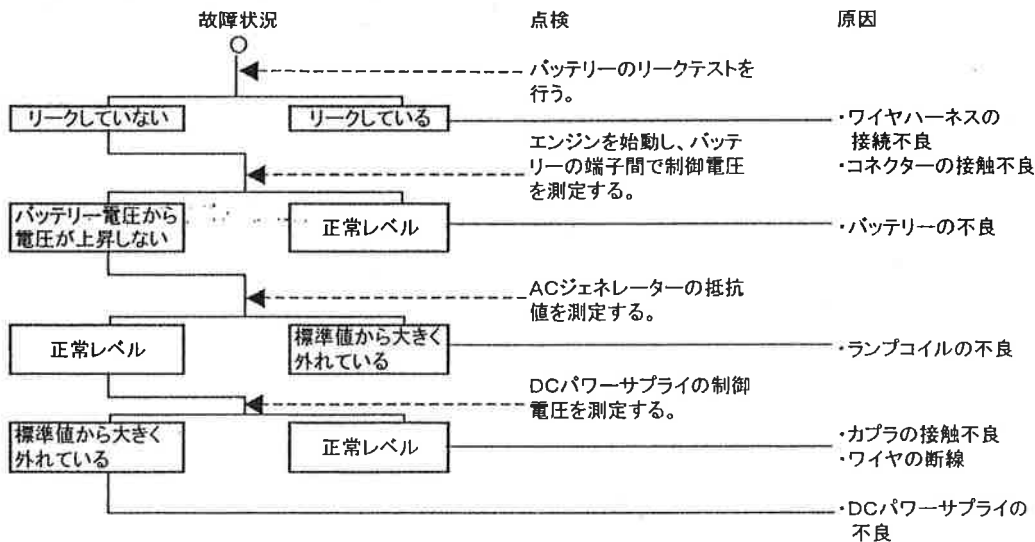
- 電圧が規定値に制御させていない場合は、コネクタのゆるみを点検し、再度測定しても制御されない場合は、ACレギュレーターを交換する。

例		
NGK	熱価	デンソー 熱価
CR8HSA		U24FSR-U
↑		↑
レジスタタイプ		レジスタタイプ



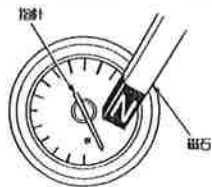
◎タコメーターの異常診断

- 回転計の針が振れる。
 - ①回転を上げると振れる
 - *スパークプラグを、レジスタタイプ(抵抗入り) を、使用していない場合。(スパークプラグを、レジスタタイプに交換する。)
 - *スパークプラグの熱価が合っていない為、スパークプラグが焦っている場合。又は、燃料調整が合っていない為、スパークプラグが焦っている場合。
(調整をし、きれいに掃除したスパークプラグ又は、新品のスパークプラグに交換する。)
 - *指定の物以外の、プラグコード及び、プラグキャップを使用している場合。(STDのプラグコード及び、プラグキャップに交換する。)
 - *電圧が不足している場合。(バッテリーを充電又は、新品のバッテリーに交換する。バッテリーが正常で電圧が不足している場合は、車両の故障診断を行う。)
 - ②エンジンを始動しても回転計が作動しない
 - *バッテリーを取り外している場合。(バッテリーを取り付ける。)
 - *電圧が不足している場合。(バッテリーを充電又は、新品のバッテリーに交換する。バッテリーが正常で電圧が不足している場合は、車両の故障診断を行う。)
 - *STD品とは、異なるジェネレーターを使用している場合。(STD品のジェネレーター部品に交換する。)
 - ③指針の位置が変わった
 - *変わった位置から針が動く場合。(磁石で指針の修正を行う。)

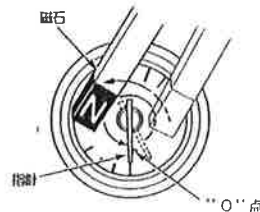


◎指針の修正

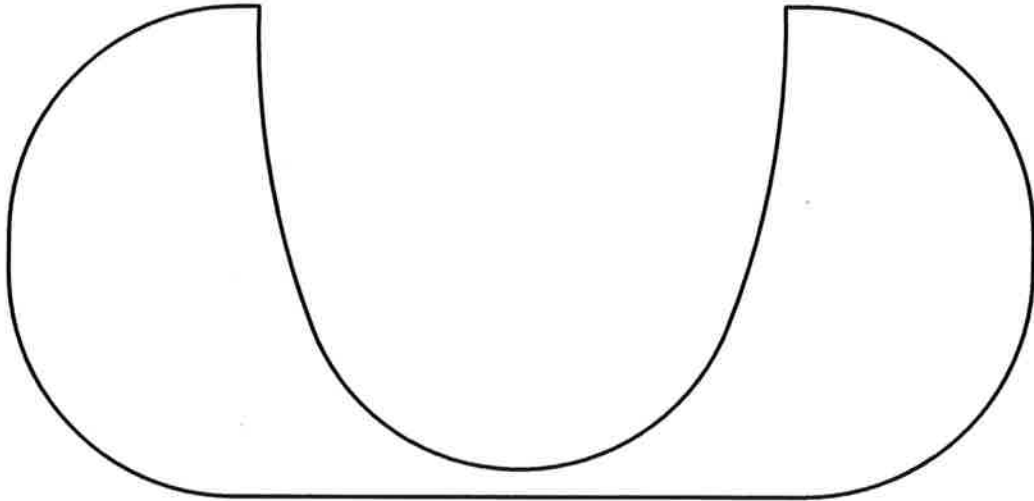
指針が転倒などによって振り切れてしまった場合、以下の手順で修正する。下図のように磁石を指針に近づける。



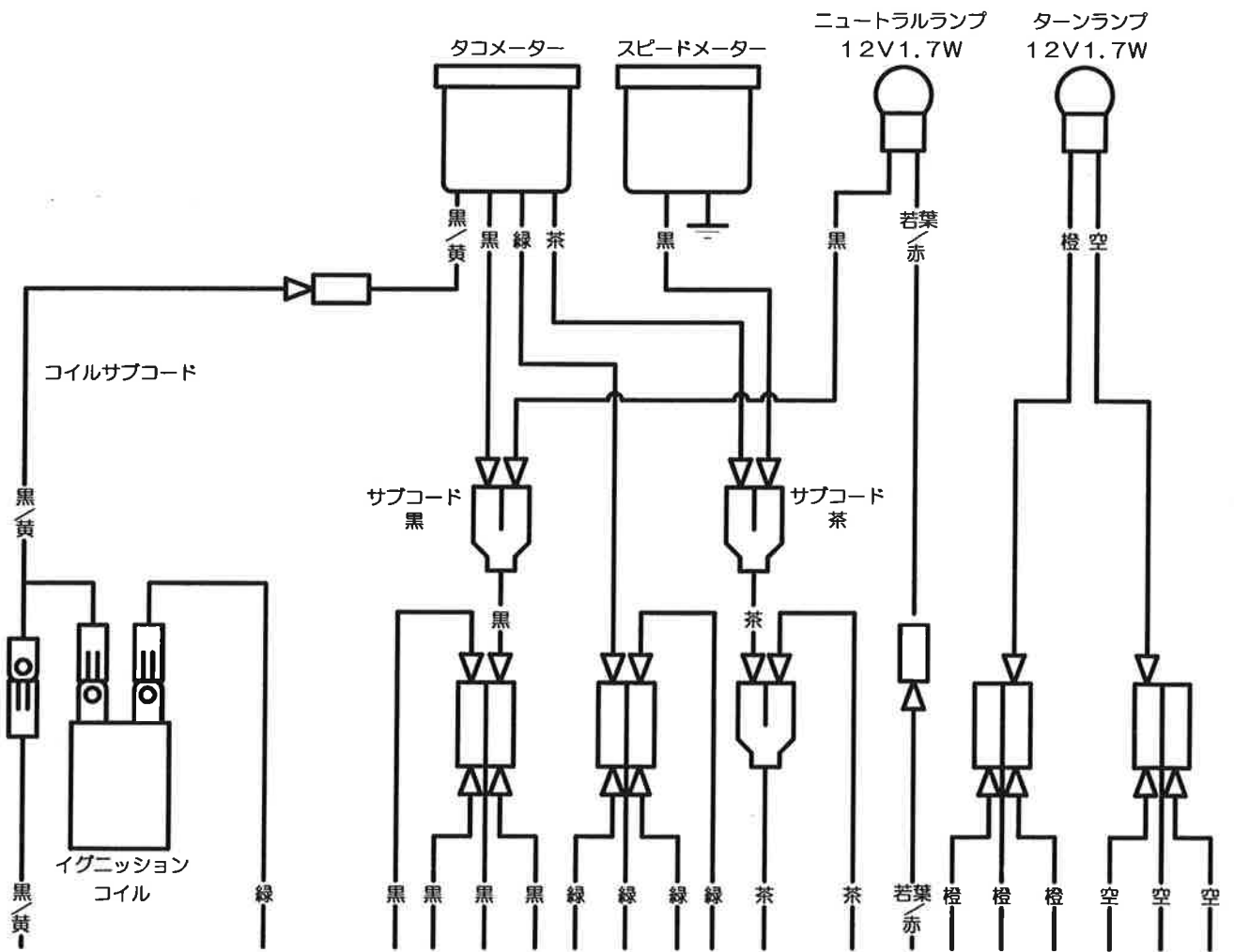
磁石を下図のようにゆっくりと移動させ、指針を'0'点に戻す。



クラフトメーターキット型紙 (原寸大)



配線図



SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
 URL <http://www.takegawa.co.jp>